

定期考査受験上の注意

1. 机の間隔をきちんとあける。
2. 机の上など、見える場所にある落書き等は消す。
机の中には何も入れない。(考査開始後、問題用紙が複数の場合でも机の中には入れない。)
3. 携帯電話等（通信機能・計算機能のある腕時計型の端末等も含む）の電源を切り、ロッカーにしまう。
筆箱、下敷き、定規、分度器、コンパス、イヤホン等、筆記用具以外の荷物はかばんにしまう。かばんは口を閉じて、椅子の下に置く。
4. ティッシュペーパーを机上に置きたい場合は監督の許可を得る。
5. ひざ掛け等の使用や、椅子に上着等を掛けることはできない。
6. 問題用紙配布後は私語をしない。開始の合図まで問題用紙は内容が見えないように机上に置いて、手を触れない。
7. カンニング（考査科目に関するメモ・教科書等を机に置いたり見たりする、他の人の答案等を見る、他の人に答えを教えてもらう等の行為）や他の生徒の迷惑になる行為、考査の公平性を損なうおそれのある行為等は絶対にしない。
8. 終了の合図があったら筆記用具を置く。監督が答案回収の終了を告げるまで静かに待つ。